

青空機械新聞

2025年2月

発行
第4号

業界ニュースとトレンド紹介

2024年自動車業界振り返り

新年が明け、早くも1カ月が経ちました。毎年徐々に時の経過が早くなる感覚があり、1日1日をもっと大切にしたいという思いが強くなっております。

さて、ここで去年の自動車業界を振り返ってみたいと思います。この紙面ではアメリカでの自動車販売状況に注目していきます。

なぜアメリカ市場なのかというと、市場規模では中国に次ぐ世界第2位の大きさですが、世界の自動車文化(トレンド)に大きな影響を与える市場という点、公表されるデータの信ぴょう性が高いという

契約当日に乗って帰ることができる事は嬉しいですが、非常に疲れます…。

私の場合も、ディーラー訪問から店を出るまで半日かかりました。しかし、実車を確認してから買うシステムは安心できるなと感心した事をよく覚えています。ちなみに私は渡米前に乗っていた三菱/アウトランダーが大好きだったので、米国でも



契約交渉後、実際に購入した車両と記念撮影

アウトランダーに絞って三菱自動車のディーラーを数社を回りました。

米国での自動車購入

まず、米国での自動車購入方法について簡単に説明いたします。

ご存じの方も多いかと思いますが、米国ではディーラーが持つ在庫の中から自分の希望する車種・グレード・付属オプションに合った1台を選んで購入いたします。そして、売買契約をした当日にそのまま乗って帰るのが一般的です。また、米国での自動車購入の特徴の一つが、一度ディーラーに行くと最低でも2~3時間、通常半日はかかる事です。契約社会ならではの大量の書類への署名、その場でローン審査、自動車登録と1日で全てをこなします。

発行元 会社概要

会社名：株式会社青空機械 (あおぞらきかい)

代表者：青木 佑典(あおき ゆうすけ)

主な事業内容：工作機械販売

住所：新潟県新潟市東区中山4-4-13-3

TEL：070-8303-6632

FAX：050-3588-8241

Email：contact@bsmt.co.jp

2024年 米国自動車販売状況(新車)

EVブームが失速していると言われる米国市場はどうなっているか。

米国での自動車の売れ行き状況を判断する目安として1,700万台という数字があります。年間販売台数が1,700万台を超えると好調とされており、

それでは、2024年の数字はどうかというと、1,597万6,559台(マークライズより)でした。11月末時点の年末着地予想が約1,580万台でしたので、12月単体の数字が良かった事が分かります。大台の1,700万台には届きませんでしたが、前年比2.3%と上昇局面に入っていると考える事ができます。

また、米国では在庫販売が主流と書きましたが、その在庫を日数で表し、販売状況を見る指標の一つとしております。通常適正在庫日数は60日程度と言われており、昨年11

月末時点の在庫日数は89日(315万台)でした。メーカー別に見ると、トヨタ27日、ホンダ55日、スバル37日、三菱39日と健闘している一方、フィアット123日、リンカーン118日、ビュイック100日、ジープ99日と在庫過多となっております。ちなみに日産は66日でした。市場全体ではハイブリッド車在庫の品薄傾向が続いており、SUVやトラックの在庫がだぶつき気味との事です。

EVIについて、その需要は低迷していますが、EVの在庫処理を急ぐ各社がインセンティブを強化している為、通年ではEVの伸びが販売を支え、ラインナップにEVを揃えているかどうかの販売台数の好不調を左右しました。

新規取扱商品

米国大手工作機械メーカー『HURCO』グループの『TAKUMI』社(台湾)製品の取扱を開始いたします。青空機械の主力商品はあくまで日本製品ですが、高品質でリーズナブルな価格の製品を選択肢の一つとしてご提供することも大切な仕事だと考えております。

第一弾として、ニッチな種類の機械になりますが、『TAKUMI』社製のグラファイト加工機をご紹介します。ぜひご紹介します。

同社で好評の門型立形MCをベースに各所に防塵対策を行い、専用の集塵機を装備した『Gシリーズ』。

テーブルサイズ600×600mmのG600、810×620mmのG700、そして1050×700mmのG1000をご用意。制御装置はFANUCを搭載、主軸はHSK-E40(30,000rpm)／E63(18,000rpm)、価格は1,990万円(税別)～となっております。



『G1000』

工作機械をお得に買う為の基本知識

～ 先端設備等導入計画 & 経営力向上計画 ～

先端設備等導入計画

制度の概要(分かりやすく簡単に)

中小企業が工場に新しい機械を導入する際に、先端設備等導入計画の認定を受けると、**固定資産税を3年間、1/2以下に軽減**する事ができる節税方法。

1,000万円の機械を購入した場合、**3年間で約20万円**の節税可能。

協力先：認定経営革新等支援機関
(商工会議所や税理士等)

←
納入前の申請／認定が
必要。

→
納入後でも大丈夫。
(設備取得日より60日
以内)

経営力向上計画

制度の概要(分かりやすく簡単に)

青色申告書を提出する中小企業(個人含む)が対象の機械設備を新規導入した際に、**法人税について即時償却又は取得価格の10%の税額控除**が選択適用できる節税方法です。

※導入をお考えの設備が対象設備かどうかはお問い合わせ下さい。ほぼ全ての工作機械が対象となっております。

※証明書は機械メーカーを通して日工会より発

補助金、その他機械設備に関してご質問等がございましたら、当社までお問合せください。

TEL : 070-8303-6632

FAX : 050-3588-8241

E-mail : aoki@bsmt.co.jp

また、新規の機械購入以外にも既存設備のアフターメンテナンスについてもお手伝いをさせていただきます。

例)今は存在しないメーカーの機械修理、現在の窓口商社を変えたい等々。

まずはお気軽にご連絡ください！！

青木社長の略歴

1986年6月生まれ(満38歳)
2009年 (株)兼松KKG 入社
2010年
↓ 同社新潟営業所勤務
2016年
2016年 日鉄物産マテックス(株) 入社
2017年
↓ 日鉄物産(株) 米国法人出向
2020年
2021年 ユアサ商事(株) 入社
↓ 同社新潟支店勤務
2024年